



2011年9月1日

## プレスリリース

株式会社日本ケーブルテレビジョン

### JCTVがデジタルサイネージ事業に参入 ～兵庫県合同防災訓練から運用開始～

株式会社日本ケーブルテレビジョン（代表取締役社長：河西 明 本社：東京都渋谷区 以下『JCTV』）は、同社が蓄積するネットワークやコンテンツ制作のノウハウを活用したデジタルサイネージ事業を開始しました。

サービス第一弾として、大手総合飲料メーカーであるダイドードリンコ株式会社様が設置するサイネージ併設型自販機に対し、ネットワーク環境の構築、コンテンツ制作および配信管理や保守をワンストップで供給するサービス「自販機ネット」の提供を開始。9月4日（日）に兵庫県朝来市で開催される兵庫県合同防災訓練の現場から実運用を開始します。

設置されたサイネージでは、「自販機ネット」の中央サーバーから配信される共通コンテンツ（時刻表示、ニュース、天気予報、防災啓蒙情報、各種告知など）の他に、ユーザーが設置状況に合わせて用意する独自コンテンツ（自治体、観光情報、営業案内や広告など）を端末毎に変更して上映することが可能。このサービスによってユーザーは、サーバーやネットワーク環境の整備や日々の運営管理からも開放されます。

また、標準搭載されるコンテンツ制作システムはJCTV独自開発の超解像技術を採用しており、携帯電話やスマートフォンなどのカメラ機能付きネットワーク対応端末があれば誰でも簡単に高解像度のサイネージ向け動画コンテンツを制作しアップロードすることができます。地域単位で継続的な情報発信が求められる観光・防災情報コンテンツの制作には最適なツール※です。

JCTVは今後、自治体をはじめ有力なコンテンツプロバイダーとの連携を強化し、様々な端末を対象とした情報共有を促進することで、地域社会に貢献できるサイネージ事業を展開していく予定です。

お問い合わせは : 株式会社日本ケーブルテレビジョン  
経営企画部 03-3405-3190

※動画コンテンツ制作ツールは、株式会社QOLP（東京都新宿区 <http://www.qolp.jp>）の製品です。